

機械器具 39 医療用鉗子

一般医療機器 鉗子（JMDN：10861001）

販売名：マイクロ止血鉗子

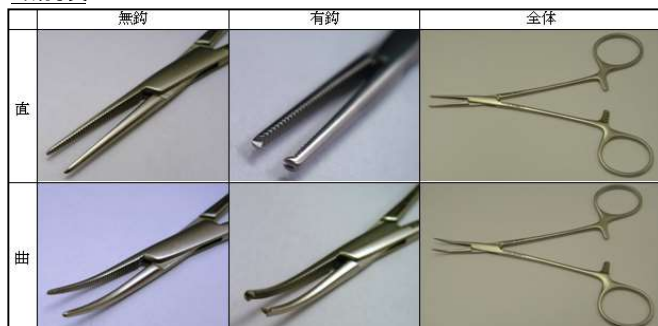
【禁忌・禁止】

1. 本品の二次加工（改造・調整等）は折損及び本来機能を損なう原因となるので絶対にしないこと。

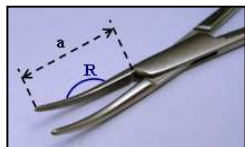
【形状、構造及び原理等】

持ち手部分にロック機能があり、先端部には、ガーゼ・被布・制御糸等をしっかりと掴み、滑らないための溝が付いている。
また、最先端部が直型、曲型、有鉤、無鉤のものがある。

外観写真



形状及び寸法



先端形状	型式	商品名	全長	先端部長さ (a)	先端カーブ (R)
直	無鉤	MH-108 マイクロ止血鉗子 直 無鉤	125 mm	21.5 mm	
	MH-108D	マイクロ止血鉗子 直 無鉤 小	98 mm	20 mm	
	有鉤	MH-118 マイクロ止血鉗子 直 有鉤	125 mm	21.5 mm	
	MH-118D	マイクロ止血鉗子 直 有鉤 小	98 mm	20 mm	
曲	無鉤	MH-109 マイクロ止血鉗子 曲 無鉤	123 mm	20.5 mm	R=25
	MH-109D	マイクロ止血鉗子 曲 無鉤 小	97 mm	18 mm	
	有鉤	MH-119 マイクロ止血鉗子 曲 有鉤	123 mm	20.5 mm	
	MH-119D	マイクロ止血鉗子 曲 有鉤 小	97 mm	18 mm	

ステンレス鋼

【使用目的又は効果】

眼科手術・処置において、ガーゼ・被布・制御糸等の把持又は固定、圧迫等に用いる。

【使用方法等】

眼科手術・処置の際、先端部分でガーゼ・被布・制御糸等を掴んで使用する。

【使用上の注意】

- (1) 使用前に必ず洗浄・滅菌（保守・点検に係る事項参照）をすること。
- (2) 本来の使用目的（手術・処置等）以外に使用しないこと。
- (3) 折損、曲がり等の原因になり得るので使用時に必要以上の力（応力）を加えないこと。

(4) 電気メスを用いた接触凝固は、術者が感電、火傷をする危険性があり、また、器具の表面を損傷するので併用しないこと。

(5) 塩素系及びヨウ素系の消毒剤は、腐食の原因になるので、出来るだけ使用を避けること。使用中に付着したときには水洗いすること。

(6) 使用後は、付着している血液、体液、組織及び薬品等が乾燥しないうちに直ちに洗浄液等に浸漬すること。また、必要以上の浸漬は表面を劣化させるおそれがあるので、洗浄液の適正な用法用量（時間）で浸漬後、蒸留水で洗い流し、十分に乾燥させること。

【保管方法及び有効期間等】

- (1) 高温・多湿・直射日光を避けて保管すること。
- (2) 滅菌したものを保管するにあたっては、再汚染を防ぐため清潔な場所に保管するとともに有効保管期間の管理をすること。0

【保守・点検に係る事項】

- (1) 使用前に汚れ、傷、曲がり等の異常がないか点検すること。
- (2) 洗浄／滅菌を装置で行う場合には、器具同士が接触して微細な先端部を損傷させないように隔離されたシリコンメッシュマットあるいはラック式滅菌用コンテナ等にセットすること。
- (3) ロック機能付（止付）の器具を洗浄・滅菌する場合には、ロック機能を開放してから行うこと。
- (4) 洗剤の残留がないよう十分にすすぎをすること。仕上げすぎには、浄化水（濾過、蒸留、脱イオン化等）を用いることを推奨する。
- (5) 強アルカリ／強酸性・塩素系／ヨウ素系の洗浄剤・消毒剤は、器具を腐食させるおそれがあるので使用を避けること。
- (6) 金属たわし、クレンザー（磨き粉）等は、器具の表面が損傷するので汚物除去及び洗浄時の使用はしないこと。
- (7) 使用後は、出来るだけ早く血液、体液、組織等の汚物を除去し、職業感染防止のために洗浄・消毒すること。
- (8) 使用後は、付着している血液、体液、組織及び薬品等が乾燥しないうちに直ちに洗浄液等に浸漬すること。また、必要以上の浸漬は表面を劣化させるおそれがあるので、洗浄液の適正な用法用量（濃度・時間）で浸漬後、蒸留水で洗い流し、十分に乾燥させること。
- (9) 点検後、セット・包装をし、高圧蒸気滅菌をすること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者 株式会社 イナミ

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目24番2号
TEL 03-3814-1731 / FAX 03-3814-3334

製造業者 Manfred Hilzinger GmbH & Co.KG(ドイツ)